

1-2 ルミニャーノ Lumignano

ルミニャーノの岩場はイタリア北部の農村地帯の中にある。位置的にはベネチアにとでも近い。かつて岩と雪誌にもイタリアで1,2位を争う面白さだと記されていて期待して行ってみた。今回訪れたのは10月後半と、らこともあつたの時期霧が出やすいとは聞いていたが、まさにその通りで霧が晴れたのは昼過ぎであった。岩場は村の裏手に横に長 伝がっていて、メインエリアは村の一番奥に位置している。遠くから岩場が大きい村の後ろに見えるが、実際登るメインエリアは村の奥まで行かないと見えぬ。ただし、面白いかなと言われれば1度行けばいいかな程度であった。コルネも発達しているところもあるが、ほとんど垂直でピカピカに磨かれていて登りずらぬ。ただし、現在村の入り口周辺の上部のケイブエリアが新し開拓されつつある。ここは日程の都合でいけなかったが写真で見てもかなりかぶっていてクリスチャンレンナも推薦していた。一応取り付きには行っていないが、下から見た感じではケイブは思ったほど大きくなく、高さもさほどなかった。ちょうど周辺では平日にもかかわらず、地元の開拓クライマーが数人でボルトを打っていた。メインエリアかぎって言えばビュクスのような面白さまったく感じられなかった。

岩質

石灰岩

ルート

岩場は村を半分囲むように横に大き伝がっている。しかし、実際登られているのはほんの一部である。メインエリアはビュクスよりエッジのたつた(ガビガビ)ポケットルートとコルネをたどるルートで構成されている。一応ケイブもあるのだが高さもなく見た目にもパツとしない。アトミックカフェというルートがケイブあって一応それをやろうと思っていたのだが、写真では面白そうに見えたが、実際は高さ5メートルほどしかなくいっきにやる気がなくなってしまった。また、全体的に垂直に近いので、グレードはとでも難しく感じた。その他に岩場の左端は広大なスラブ地帯。右端は垂直で見た目に面白くなさそうなエリアがある。最新エリアは村の入り口の裏にそびえる岩場である。ここ取り付きには行っていないが面白いらしい。もしルミニャーノに行くならこちらから行ってみるのを勧めます。それでそこが今一ならば移動したほうがよいかも。

宿泊

村には宿泊施設は全くなぬ。岩雪に紹介されていたペンションもつぶれている。そのためピチェンツァ周辺の村のホテルを探さなければならぬ。キャンプ場も近くに全くなぬ。私たちが村で紹介された隣の村のホテルに泊まったが1部屋90000L程度であった。

ショッピング

村には小さな商店しかないので買出しをしてから行くこと。

シーズン

秋から春。ただし秋は霧が出やすい。

アプローチ

ここではVENEZIA から紹介する。高速E13号をVICENZAまで行き、そこから南へ247号を10分ほど進むとCOSTOZZAという小さな村に出る。そこを過ぎるとLUMIGNANOの看板がでくる。メインエリアは村の一番奥で、どんずまりに駐車スペースがある。ただし駐車スペースは少ない。

2000年秋 木村伸介